2018（平成30）年10月発行【第7号】

元気 Genki! ぎふ

Gifu Project Network

特定非営利活動法人 ぎふ・プロジェクトネットワーク
情報誌 Vol.7 2018.10

岐阜県の行政から暮らしまで、役立つ情報が満載！
GIFU42 ぎふ42市町村ネットワーク
www.gifu42.net

表紙は、河口瑛泉さん（岐阜県岐阜市在住）の筆文字です。

■発行／特定非営利活動法人ぎふ・プロジェクトネットワーク 〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東１丁目20番３号
Tel：058-237-6222 Fax：058-237-7509 E-Mail：info@gifu42.net HP：www.gifu42.net

人々の命と健康を守り、人生に潤いを与える美容への貢献を目指して。 *All for Your Smile*

関工場
皆様の暮らしをサポートする、
高品質製品の生産拠点。

日ノ出本部／総合研究所
新たな価値の創造。
皆様の暮らしをサポートします。

美濃工場
医療機器の厳格な国際品質規格をクリア。
世界トップシェアを誇る各種医療機器の生産拠点。

刃物の総合博物館
フェザーミュージアム
装いも新たに、平成28年3月
リニューアルオープン（入館無料）

フェザー安全剃刀株式会社
本　社／〒531-0075 大阪市北区大淀南３丁目３番70号
ホームページ http://www.feather.co.jp/
支店：東京／営業所：福岡・札幌／工場：関市・美濃市／研究所：関市
代表取締役会長 藤田 直人
代表取締役社長 岸田 英三

9001：メディカル以外
13485：メディカル

特定非営利活動法人ぎふ・プロジェクトネットワークは、4つの活動で岐阜県各地の地域・企業・観光等の　情報を発信! 岐阜県の活性化に貢献しています。

1

「お気に入り」に入れて、岐阜県の情報をいつでもご覧下さい。

www.gifu42.net　GIFU42 ぎふ42市町村ネットワーク

■サイト運営

岐阜県の行政から暮らしまで、役立つ情報が満載!

市町村長インタビュー

GIFU42 市町村 NETWORK

安八町 堀　正町長	池田町 岡崎 和夫町長	揖斐川町 富田 和弘町長	恵那市 小坂 喬峰市長	大垣市 小川 敏市長	大野町 宇佐美 晃三町長	海津市 松永 清彦市長
各務原市 浅野 健司市長	笠松町 広江 正明町長	可児市 冨田 成輝市長	川辺町 佐藤 光宏町長	北方町 戸部 哲哉町長	岐南町 松原 秀安町長	岐阜市 柴橋 正直市長
郡上市 日置 敏明市長	下呂市 服部 秀洋市長	神戸町 谷村 成基町長	坂祝町 南山 宗之町長	白川町 横家 敏昭町長	白川村 成原 茂村長	関市 尾関 健治市長
関ヶ原町 西脇 康世町長	高山市 國島 芳明市長	多治見市 古川 雅典市長	垂井町 中川 満也町長	土岐市 加藤 靖也市長	富加町 板津 德次町長	中津川市 青山 節児市長
羽島市 松井 聡市長	東白川村 今井 俊郎村長	飛騨市 都竹 淳也市長	七宗町 井戸 敬二町長	瑞浪市 水野 光二市長	瑞穂市 棚橋 敏明市長	御嵩町 渡辺 公夫町長
美濃市 武藤 鉄弘市長	美濃加茂市 伊藤 誠一市長	本巣市 藤原 勉市長	八百津町 金子 政則町長	山県市 林 宏優市長	養老町 大橋 孝町長	輪之内町 木野 隆之町長

平成30年9月15日 現在

市町村長インタビュー

岐阜県下42市町村の全ての市町村長
インタビューを掲載しています。

・市町村HPにリンク
・サポートメンバー(法人会員)の紹介

ぎふの新・見聞録

行政や法人会員企業のイベント、新規事業の立ち上げ情報、新製品の開発情報等の紹介をしています。

調べる・学ぶ・ぎふの市町村

岐阜県をもっと深く知りたい人のための様々な情報を紹介しています。

企画編集 / ぎふ清流ボイス

岐阜県の各界でご活躍の方やユニークな
経営を行っている企業・組織の紹介をしています。

ぎふ清流ボイスの
アーカイブ(過去掲載一覧)を
ご覧いただけます。

2

■情報誌発行

ぎふの魅力をギュッと凝縮!
元気なぎふの情報誌

Gifu Project Network 元気 Genki!ぎふ

Vol.7

Vol.1

Vol.2

Vol.3

Vol.4

Vol.5

Vol.6

《編集コンセプト》

①岐阜県の様々な地域資源のＰＲを推し進め、岐阜県の魅力の発信を推進することにより、人や地域・産業、企業等の活力につなげる。
②運営サイト「ぎふ42市町村ネットワーク」と連動し、幅広い人に読んでいただくことにより、地域経済の活性化につなげる。

《PR記事出稿について》

情報誌「Genki!(元気)ぎふ」へのPR記事掲載のご希望の方(企業・団体等)は下記までご連絡下さい。
【本部事務局】Tel：058-237-6222

《概要》

- 創刊号発行：2015(平成27)年5月
- 体裁：Ａ4版　40ページ(前後)　フルカラー
- 発行サイクル：年2回(予定)
- 配布先：岐阜県下42市町村(庁舎)
  県下の図書館をはじめ公共施設
  岐阜県庁、ふれあい福寿会館
  県教育委員会
  商工会議所、商工会
  金融機関や医療機関(一部)
  首都圏企業(東京岐阜県人会会員企業)
  記事掲載団体、企業
  他

トップページ Genki!ぎふ 情報誌「Genki!(元気)ぎふ」アーカイブ archive から情報誌の既刊号(アーカイブ)をご覧いただけます。

3

岐阜市長良に
岐阜県の情報発信のための
「BHMSサテライトスタジオ」を運営。

■岐阜県が誇る豊かな地域資源情報をこのスタジオで収録。
■収録したソースを、ＨＰ、YouTube、SNS、FM/AM(局)、CD/DVDなどに落とし込んで、各々の媒体ならではの効果的な情報発信をすることを狙っています。

【所在地】
〒502-0003
岐阜市三田洞東1丁目20番3号

4

様々な分野でご活躍の講師による
講演会・セミナー・公演会・勉強会
などのマネジメントを実施。

■各企業・団体からの依頼で様々な講演会のご紹介をしています。
■講演会・セミナーの規模に合わせ、ご提案が可能です。

【お問い合わせ先】
特定非営利活動法人
ぎふ・プロジェクトネットワーク
本部事務局まで

私たちと共に岐阜県の
地域活性化を進めませんか!?

特定非営利活動法人 ぎふ・プロジェクトネットワーク **[法人会員]募集中!**

私たちの活動は、ご賛同をいただいている法人会員からの年会費により支えられています。
岐阜県の地域資源を守り、育てていくことにより地域活性化に貢献を!とお考えの皆さまのご入会をお待ちしております。

入会のお問い合わせ・お申込み　本部事務局／Tel:058-237-6222　E-Mail:info@gifu42.net までご連絡下さい。

2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向けた岐阜県の取組み

東京オリンピック・パラリンピックの開催まで残すところあと2年を切りました。こうした中、岐阜県では、東京オリ・パラの開催を県の魅力を世界へ発信する絶好のチャンスととらえ、「『清流の国ぎふ』づくり 深化と挑戦」をテーマに、様々な取組みを実践しています。
　今回の特集では、2020年に向けた、県の取組みについて、岐阜県の担当者からお話をうかがいました。

1 東京オリ・パラ戦略の展開

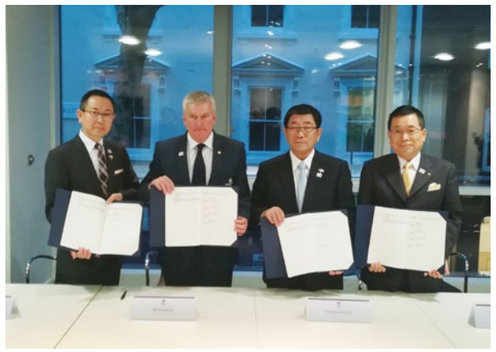
①競技力の向上 合宿誘致や環境整備

○県では、岐阜県ゆかりの選手を東京オリンピックへ30名、東京パラリンピックへ10名輩出することを目指し、選手の強化を進めるとともに、次世代を担うジュニア選手の発掘及び育成を図っています。

○具体的には、東京オリ・パラへの出場が期待できる選手やジュニア選手を強化指定し、選手の強化活動に係る経費への支援、科学的トレーニングのサポート等を実施しています。

○特に、障がい者のアスリート選手については、世界大会への出場、競技用具の購入、指導者養成等に係る経費を支援するとともに、専門スタッフによる障がいの特性を踏まえたトレーニング指導を実施するなど、きめ細かな支援体制を整えています。

○また、高山市、下呂市にまたがる飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアでの事前合宿については、平成27年のフランス陸上競技連盟との基本合意締結に続き、昨年の11月にはイギリスオリンピック委員会と契約を締結したところです。さらに今年の秋には、カナダ陸上競技連盟と岐阜メモリアルセンターでの事前合宿について、合意する見通しとなっています。



英国オリンピック委員会との契約締結式

○海外選手の宿泊にも対応するため、御嶽濁河高地トレーニングセンターに宿泊棟を建設するほか、川崎重工ホッケースタジアムの人工芝を東京オリンピック試合会場と同じ仕様のものに張り替えるなど、練習環境を充実させ、トップアスリートの合宿誘致をさらに進めていくこととしています。

②大会開催を通じたスポーツ振興

○国際規模、全国規模の大会の誘致にも取り組んでいます。今年6月に開催した「第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会」では、35の国と地域から約700名が参加し、本県ゆかりの選手も大いに活躍しました。また来場者が2万4千名を超える盛大な大会となり、世界レベルの競技に触れることができました。

アジアジュニア陸上競技大会開会式

○この大会では、県内211の小中学校、高校、特別支援学校が、それぞれ参加国の1つを応援する「1校1国応援事業」を展開し、応援横断幕の制作、来場応援、各国選手団との交流を行いました。通訳や運営ボランティア、高校生アテンダントなど多くの方々の協力のもとで、アジア諸国の若者と交流を深める素晴らしい機会となりました。

○2019年には「日本スポーツマスターズ」、2020年には「ねんりんピック」が岐阜県で開催されることになっています。こうした大会を通じて、県民の皆様のスポーツへの関心をさらに高めていくとともに、地域の活性化、岐阜の魅力発信などに取り組んでいきます。

専門スタッフによるトレーニング指導（岐阜県スポーツ科学センター）

③県産品の魅力発信

○県産の農畜水産物を「東京オリ・パラ」で提供してアピールしていくため、平成29年5月に農協や漁協等の連携のもと「岐阜県『東京オリ・パラ』県産農畜水産物利用促進協議会」を設立したほか、平成30年度から県庁内に「東京オリンピック・パラリンピック農産物販売対策室」を新設し、県内の農畜水産関係者が一丸となって、大会食材調達基準であるGAP（農業生産工程管理）などの認証取得や首都圏での食材のPR活動などに取り組んでいます。

のための施設整備費などへの助成を行っています。

○さらに、本県自慢のコメ、トマト、ホウレンソウ、枝豆、大根、小松菜、茶、飛騨牛、豚、鶏、鮎の11品目を重点食材と位置づけ、大会組織委員会や大会で食の提供に携わるケータリング事業者及びレストランシェフを対象として、今年8月に「清流の国ぎふ」おもてなし食材披露会、「清流長良川の鮎フェアin Tokyo」を開催しました。また来年2月には飛騨牛メニューフェアと題して産地見学会や試食会の開催を予定しています。

GAP確認通知書交付式

○大会組織委員会の食材調達基準には、国際認証制度である「グローバルGAP」や「水産エコラベル」などがあり、これまでに13の農業法人等が認証を取得しています。加えて岐阜県独自の「岐阜県GAP確認制度」が昨年11月に新たに創設され、今年5月には、5つの農業法人等が認証を取得しました。

○この認証取得に向けた支援として、県普及指導員や農協営農指導員をGAP指導員として養成し、支援体制の強化を図りつつ、認証取得を目指す農業者に対し、認証審査料や認証取得

おもてなし食材披露会

○現在、新国立競技場をはじめとした競技会場や関連施設の整備が進められています。このような施設で県産

ホウレンソウ

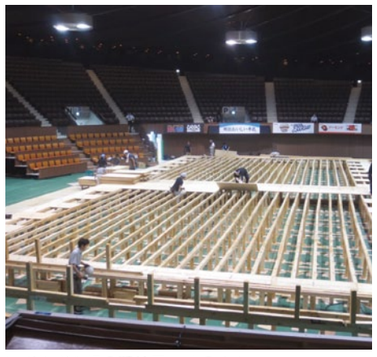
トマト

感謝状贈呈式

木材が利用されることは、県の木の良さ、魅力を世界へ発信することにつながります。

○そこで、平成29年2月に県内の民間事業者や関連団体と連携して、「岐阜県『東京オリ・パラ』県産木材利用促進協議会」を設立し、官民一体となって、PR活動を行っています。

○これまでに、選手村ビレッジプラザの建物1棟と新国立競技場の一部に、東濃桧をはじめとする県産木材を利用することが決まりました。選手村ビレッジプラザへは、県、関市、中津川市、郡上市、下呂市、白川町、東白川村が共同で木材を提供することになり、昨年11月に、大会組織委員会から感謝状をいただきました。


レスリング会場の競技用マットの土台

○このほか、大会関連施設の内装材や家具での活用を大会組織委員会等に働きかけるとともに、ぎふ清流国体等で既に競技用マットの土台で利用実績のあるレスリング会場をはじめ、空手やテコンドー等の競技会場での活用に向け、各競技団体へのPRを行っています。

白川町での伐採式

○今年2月には、白川町で提供木材の伐採式が行われ、樹齢70年以上にもなる巨大な東濃桧が切り出されました。

2 観光産業の基幹産業化
世界に選ばれる観光地域づくりと広域周遊観光の核づくり

○近年、県内を訪れる外国人の宿泊者数の伸びはめざましく、この7年間で7倍を上回る100万人規模にまで拡大しています。

○旅行形態をみると、団体旅行から個人旅行へと変化しており、そのニーズも、体験型観光である、いわゆる「コト消費」に移っていることから、岐阜県を旅行先として選んでもらうため、岐阜でしか味わうことができないオンリーワンの旅を提案していくことが不可欠となっています。

○そのため、サイクリングやトレッキングといった自然体験、地歌舞伎の観賞や隈取・衣装の着付けといった文化体験に加え、「刀鍛冶」や「手漉き和紙」といった県が誇る〝匠の技〟の体験など、魅力ある体験メニューをそろえて積極的なPRを行っています。

Wi-Fiを利用する外国人

○併せて、宿泊施設や飲食店、土産物店などのWi-Fi環境整備や多言語化、キャッシュレス化等に加え、質の高い外国語観光ガイドを育成し、ストレスフリーで、思う存分、岐阜県の旅を満喫していただいてファンを増やし、リピーターへとつなげていけるよう取り組んでいます。

関ケ原古戦場ビジターセンター（仮称）完成予想図

○このように2020年は県内の歴史観光の好機を迎える年でもあり、このビジターセンターを拠点に、古戦場巡りはもとより、合戦にゆかりの深い岐阜城、大垣城、郡上八幡城、さらには明智光秀公ゆかりの地といった広域的な観光地巡りへとつなげていきます。

○2020年には、本県にゆかりの深い明智光秀公を主人公としたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送や、海外でも知名度が高い「関ケ原古戦場」を中心とした、広域観光の拠点となる、新たなシンボル「関ケ原古戦場ビジターセンター（仮称）」のオープンを予定してます。

○世界農業遺産（GIAHS）である「清流長良川の鮎」は、持続的な発展を図るため、流域の農林水産業や商工観光業等の関係者や住民が一体となり、保全・継承のために様々な活動を展開しています。毎年7月の第4日曜日には、「GIAHS鮎の日」として県内挙げてのイベントなどを実施しています。

○また、今年6月には、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信拠点となる「清流長良川あゆパーク」が郡上市にオープンし、家族連れなど多くの来場者で賑わっています。

清流長良川あゆパーク

○10月には、国内のGIAHS関係者が一堂に会し、長良川流域を巡るエクスカーションや国際シンポジウム、認定地域の特産品を販売するマルシェなどを行う「全国GIAHSの集い in ぎふ」を開催します。

3 未来につながる「ぎふブランド」づくり

①県産品の販路拡大支援

○東京オリ・パラの機会を捉えて、県では、県産品の流通拡大を支援するとともに、急速な経済成長が進むアジア諸国や質の高い商品を望む欧米諸国等、海外を視野に入れた販路開拓も支援しています。

○具体的には、各種見本市・商談会への岐阜県ブースの出展、首都圏向け商談会の開催、首都圏でのテストマーケティング支援など、多様なツール・チャンネルにより、県内企業による首都圏での販路拡大を支援しています。

○また、世界の名だたる企業が参加する国際的な見本市である「ミラノ・サローネ」と「メゾン・エ・オブジェ」には、海外の著名なデザイナーと組んで、3年連続で出展しています。毎年高い評価を受けており、海外展開に意欲のある県内企業を後押ししています。

○その他、ネットビジネス及び新業界への販路開拓を目的として、ネットショップ総合支援センターを設置し、ネットビジネスへの参入や経営改善を支援するとともに、海外サイトでの県産品販売に取り組む企業も支援しています。

ミラノ・サローネ ⓒatelier oï

②農畜水産物の販路拡大支援

○県産品のリーディングブランドの一つである飛騨牛については、岐阜大学、JA全農岐阜、岐阜県が連携し、岐阜大学美濃加茂農場内にて「飛騨牛研修・繁殖センター（仮称）」の整備に着手することとしています。これにより、生産基盤の強化を図るとともに、平成34年の全国和牛能力共進会での「和牛日本一」奪還に向けて、より高品質な飛騨牛を安定的に産出するため、母牛の遺伝子解析などの調査研究を進めていきます。

○農畜水産物の認知度向上や消費拡大に向けては、3大都市圏で開催されるイベントへの出展や商談会への参加、レストランでのメニューフェアの開催などにより、国内の消費者やレストラン、市場流通関係者などへのPRも実施しています。

○海外に対しては、アジアなどの人口増加や新興国における富裕層の拡大、また、TPP11や日欧EPAの発効による輸出先国の関税撤廃、さらにはアメリカでの柿の輸入解禁やオーストラリアでの牛肉輸入解禁など、輸出拡大への追い風が吹いています。

○この機を捉えて、飛騨牛、柿、花き、鮎などを中心に現地有名レストランや高級百貨店、政府関係者などを対象とした積極的なプロモーションを展開し、本県が誇る農畜水産物を全世界に向けてPRしています。

飛騨牛

4 芸術・文化の振興「清流の国ぎふ」文化の創造・発信

○東京オリ・パラは「スポーツの祭典」のみならず、「文化の祭典」でもあることから、県としても国が定める文化プログラム認証制度の一つ「beyond 2020プログラム」を積極的に活用しています。本県では現在、70を超える文化プログラムが認証を受けており、2020年に向けて、「清流の国ぎふ」文化の魅力を広く発信していきます。

AAIC2017
「THE MAUSOLEUM －大霊廟－」安野 太郎

○この他、文化の創造・発信の取組みとしては、これまで69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」を、時代の変遷や表現の多様化に合わせて見直し、昨年度から「清流の国ぎふ芸術祭」として展開しています。

第1回ぎふ美術展開場式

○まず昨年度は、想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とし、3年に1度開催する革新的な企画公募展「Art Award IN THE CUBE 2017（AAIC2017）」を県美術館で開催しました。国内外から790件の応募があり、約2カ月の開催期間中には約3万8千人の方々にご観賞いただきました。

○今年度は、県民に広く発表する機会を提供する公募展「ぎふ美術展」を県美術館で6月に開催したのをはじめ、幅広い県民が参加できる美術講座、ワークショップ等を県内各地で展開する「アート体験プログラムーアートラボぎふ」を実施しているところです。

○そして2020年には、「記憶のゆくえ」をテーマに「AAIC2020」を県美術館で開催します。世界中からの注目が集まるこの年に、岐阜県から革新的な文化芸術を創造・発信していきます。

○また、全国最多の30の保存会を有し、本県の地域文化の象徴ともなっている「地歌舞伎」についても、その魅力を大いに発信しています。2020年には県内の地歌舞伎保存会による「勢ぞろい公演」を計画しており、その公演に向けて、一昨年から、県内の複数の保存会が順次出演する「地歌舞伎推進プログラム」をぎふ清流文化プラザで展開しています。

○今年10月にはフランスとスペインで地歌舞伎を披露するヨーロッパ公演を行う予定です。フランス・パリでは日本の文化を大々的に紹介する「ジャポニスム2018」の公式プログラムの一つとして、スペインでは、サラマンカホールのご縁で、サラマンカ大学創立800周年記念事業の一環として、地歌舞伎の魅力を世界に発信することになっています。

○今後も、2020年をターゲットイヤーとしつつ、それ以降の展開も見据えながら、「清流の国ぎふ」文化の保存から継承、創造、発信、そして振興にいたる取組みを、国際交流や観光振興とも連携して進めていきます。

「清流の国ぎふ」夏の地歌舞伎公演2018

岐阜県には、白川郷合掌造り集落などの世界遺産をはじめ、長良川鵜飼や
飛騨高山、下呂温泉といった有名観光地、飛騨牛や清流長良川の鮎といった食資源、
本美濃紙や関刃物といった伝統産業など、国内外に誇る魅力が溢れています。
本県では、「清流の国ぎふ」を巡りながら、こうした魅力を余すことなく堪能し、
周遊や宿泊につなげる様々なキャンペーンを展開していますので、
その一例をご紹介します。

「清流の国ぎふ」の魅力を満喫できる各種キャンペーンの展開

「清流の国ぎふ」めぐる旅キャンペーン

その土地ならではの「食」は、旅行先を決める重要な要素です。
また、「食」を大いに楽しみ、満足していただくことで、
2回、3回とリピーターにつながることも期待できます。

そこで、岐阜県では、「飛騨牛」や「清流長良川の鮎」などの「食」をテーマに、旅行予約サイト「じゃらんnet」や、グルメサイト「食べログ」、NEXCO中日本と連携し、「めぐって」「食べて」「泊まる」、岐阜県ならではの魅力の詰まった「清流の国ぎふ」めぐる旅キャンペーンを展開し、旅行者の宿泊滞在につなげていきます。

「泊まる」…宿泊予約サイト「じゃらんnet」で、
「季節の特選プラン」や「ぎふグルメ旅プラン」などの
キャンペーン特別宿泊プランを販売。(3月まで)

「食べる」…ぎふ旅ランチフェアを開催。
第1弾は、グルメサイト「食べログ」とタイアップし、
飛騨牛や鮎などの岐阜ならではの対象ランチを
食べるとおもてなしの一品がサービスされる
「おもてなしランチ」を開催。(11月まで)
また、第2弾は、じゃらんnetで宿泊予約した方のみが
食べられる「プレミアムGiftランチ」を開催。(2月まで)

「めぐって」…NEXCO中日本と連携し、
岐阜県内の高速道路が2日間5,300円で乗り放題となる
「快走G割！岐阜県周遊ドライブプラン」を販売。(11月まで)

ひがしみの観光パスポート

2027年には、リニア中央新幹線の開業が予定され、東京や名古屋からのアクセスも飛躍的に向上する東美濃エリア(多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市、可児市、御嵩町)には、
岩村城跡や苗木城跡、美濃金山城跡といった山城、
文豪の島崎藤村の出生地としても知られる馬籠宿、
陶器のまちの新たなシンボルとなった
多治見市モザイクタイルミュージアムなど見どころ満載です。

NHK連続テレビ小説『半分、青い。』の放送で、一躍脚光を浴びることとなった東美濃。

こうした観光地を巡りながら、観光施設や宿泊施設、飲食店、土産物店等で、お得なおもてなし特典が受けられる「観光パスポート」を発給し、東美濃の周遊滞在観光につなげていきます。

ひがしみの観光
パスポートを使って、
今話題の「東美濃」を
楽しくお得に
巡ろう！

東美濃エリア7市町内の約350の観光施設や飲食店で
使える割引やプレゼントなどお得な「おもてなし特典」が満載。
さらに、参加施設でスタンプを集めると、
特産品や宿泊券を抽選でプレゼント。(2月まで)

観光パスポートは、東美濃エリア7市町の観光案内所のほか、
道の駅、指定の宿泊施設、岐阜県観光連盟 飛騨・美濃観光名古屋センターなど
61施設で入手できます。

●お問合せ／「ひがしみの観光パスポート事務局(TEL 058-265-7504)」まで

柴橋岐阜市長インタビュー

柴橋正直 岐阜市長が語る「岐阜連携都市圏」構想と目指すもの

平成30年3月に、岐阜市は近隣の3市3町と連携中枢都市圏である「岐阜連携都市圏」を形成しましたが、連携中枢都市圏とはどのようなものかお聞かせください。

我が国の人口は急激に減少することが予想されており、２０５０年には、現在人が住んでいる地域の約２割が無居住化するとも言われています。

そのような人口減少・少子高齢社会においては、我々のような基礎自治体がすべての住民サービスを提供する、いわゆるフルセット行政は困難になっていきます。地域を活性化し、住民の皆さんが安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、国は平成26年度から、地域において相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、様々な取組を行うことで、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点の形成に向け、「連携中枢都市圏構想」を推進しています。

具体的には、人口20万人以上の指定都市や中核市と、結びつきの強い市町村（原則通勤通学の割合が10％以上）が連携し、連携中枢都市圏を形成するもので、この地域では中核市である岐阜市を中心に連携中枢都市圏へ参加の意向を示した山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町と岐阜連携都市圏を形成しました。

■「岐阜連携都市圏」の形成

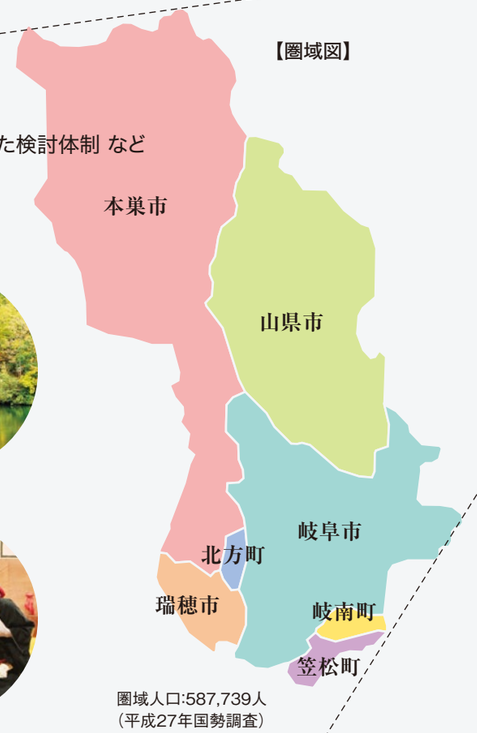
岐阜連携都市圏が目指すもの、将来的な方向性をお聞かせください。

岐阜連携都市圏は、清流長良川など豊かで美しい自然環境に恵まれた地域である一方、行政機関や文化・芸術・歴史に関する公的機関、重篤な病気や休日・夜間にも対応できる医療機関、高等学校や大学などの教育機関なども充実しています。さらに、岐阜駅から名古屋駅まで鉄道で約20分であり、便利で総合的な住環境の良さをアピールできる自立性のある一体的な圏域を形成しています。

平成30年3月に策定した「岐阜連携都市圏ビジョン」では、「多様な個性が輝き、住み続けたくなる『岐阜連携都市圏』」を将来像に掲げ、こうした圏域の特徴を活かしながら、それぞれの市町の個性を重視した連携事業を進めていきます。

岐阜市
長良川鵜飼

【圏域図】



圏域人口:587,739人
（平成27年国勢調査）

【岐阜連携都市圏ビジョンに定める主な取り組み】

圏域全体の経済成長のけん引	・岐阜地域産学官連携交流会 ・圏域企業等就職合同説明会 など
高次の都市機能の集積・強化	・市街地再開発事業の促進 ・公共施設の洗い出しと利用状況の把握に向けた検討体制 など
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	・保育所の広域入所 ・広域避難体制の整備・強化 など

本巣市
淡墨桜

瑞穂市
富有柿発祥の地

山県市
伊自良湖

北方町
清流平和公園

笠松町
木曽川川灯台

岐南町
伏屋獅子芝居

岐阜連携都市圏の連携中枢都市として、岐阜市はどのような役割を担うべきか、市長の思いをお聞かせください。

平成30年7月に総務省の有識者会議（自治体戦略２０４０構想研究会）から報告があったように、深刻化する人口減少・高齢化に真正面から対応していくためには、現在取り組んでいる「連携中枢都市圏」を主体としたまちづくりをより一層進めることが重要になってきます。

そして、この圏域の中心である岐阜市は、圏域全体の発展に向け、雇用の創出や産学官連携に積極的に取り組み、圏域全体の経済成長をけん引するとともに、高度な医療サービスの提供や市街地再開発事業の促進などに取り組み、高次の都市機能の集積・強化にも力を入れていかなければと考えています。

今後も各市町と強い信頼関係のもと協力し合い、人口減少・少子高齢社会にあっても圏域全体の生活関連機能サービスを維持、向上できるよう、圏域全体で取り組んでいきたいと考えています。

昭和コンクリートグループの新しい挑戦

昭和コンクリート工業㈱を中心に、運輸、商社、造園事業などを手掛ける企業を抱える昭和コンクリートグループは、将来を見通して収益の多様化に積極的に取り組んでいます。そんな中で、今回は最近立ち上げた2つの事業について紹介します。

株式会社 亀田屋酒造店
総括責任者 中村卓巳さん

昭和造園土木株式会社
設計課 諏訪稔彦さん

店舗スタッフ

オーダーメイドのお庭造り

運営元／昭和コンクリートグループ
昭和造園土木株式会社

7月8日に、岐阜市長良にあるホーム&ガーデン バムズ内にオープンしたのが「JEWELIOR（ジュエリア）」です。ネーミングは自然の中から生まれる宝石のような美しさと、機能的なエクステリアの2つを掛け合わせたもの。「オーダーメイド」だからこそできる思いのこもったデザインの実現をコンセプトにしています。

運営元である昭和造園土木は、これまでにJR岐阜駅前整備工事や北方町120周年記念公園整備工事など様々な事業を手掛けてきました。今回のジュエリアオープンについては、「個人のお客様獲得に力を入れる中で、お客様に来ていただきやすいアンテナショップが必要だと感じました」と、ジュエリア責任者で昭和造園土木設計課の諏訪さんが語ってくれました。

「友達を呼んでバーベキューがしたい」「家庭菜園がしたい」「子どもとバドミントンがしたい」「ペットが遊べるようにしたい」など、お客様それぞれが考える、したい・やりたいお庭の要望にオーダーメイドで応えてくれます。ジュエリアは、これまで手掛けてきた数々のノウハウを活かし、お庭の専門店として、お客様のライフスタイルに合った庭造りをプロデュースしていきます。

今後の展開については、「幸いにもバムズ内には、インテリア商品やグリーン商品がたくさんあるので、お客様もイメージがつけやすいと思います。バムズの隣にはカフェ、前には長良公園があり、ゆったりくつろいだ時間を挟んでいただきながら、じっくりと打ち合わせができます」とのこと。

ジュエリア
JEWELIOR
GREEN&GARDEN by SHOWA
〒502-0054 岐阜市長良井田50-1 ホーム&ガーデン バムズ内（長良公園北）
TEL.058-201-0363 https://www.jewelior.com 定休日／水曜日

アルプス山系の伏流水で醸す日本酒

昭和コンクリートグループは、人間が生きていくうえで重要な「衣・食・住」のなかで、いちずに「住」の部分である社会資本整備に関わる仕事をしてきましたが、日本の文化でもある酒造りを通じて、「食」の分野においてもおおいに社会貢献していきたいという思いから、食分野事業に対する初めての挑戦になります。

亀田屋酒造店は、西に日本の屋根北アルプスの勇壮な山々がそびえ、東の美ケ原のたおやかな山から太陽が昇る信州松本にあります。創業は明治2年、150年の歴史を誇る造り酒屋です。大自然に囲まれた松本は、空気が澄み、流れる水も清冽。アルプス山系の伏流水で醸すお酒は、全国新酒鑑評会で金賞を9回受賞するなど、高い評価を受けています。

中村総括責任者は「松本の気候風土を活かした寒造りにこだわって品質第一に酒造りに取り組んでいます。品質には自信があり今年度も全国燗酒コンテストで金賞を受賞しました。今後はさらにPRに力を入れていきたいと思っています。また、イタリアで開催された世界最大の展示会ヴィニタリーに初めて出展したのですが、3種類の純米に五つ星をいただき、欧州の人たちに日本酒が幅広く受け入れられていることに、新たな感動を覚えるとともに、より多くの方にお勧めしたいという自信を得ることができました」と語ります。今後は、松本でも一二の歴史を競う明治18年築の母屋を活かした信州で一番の観光酒蔵を目指します。また、お酒を活かした化粧品やせっけんなどの開発、岐阜の酒メーカー、食品メーカーとのコラボレーションなど、PRに力を入れるとともに、皆さまにときめきを感じてもらえる新商品の開発にも積極的に取り組んでいきます。

伊藤大治杜氏

株式会社 亀田屋酒造店
〒390-0852 長野県松本市島立2748
TEL.0120-47-1320 http://kametaya.co.jp

岐阜のアートをたずねて

本格アートを地方から発信する

岐阜県池田町、池田山の麓にある「極小美術館」。
代表を務める長澤知明さんが私財で運営しています。
どのような思いで美術館の運営をスタートさせたのか、
今後の夢などについて伺ってみました。

http://www.geocities.jp/kyokushou_museo/

入館料は無料。作品の売買もしない

極小美術館では、年4回、8本の企画展を開催しています。入館料は無料で、作品の売買も行っていません。理由を尋ねると、「営利で運営しているわけではありません。売れ筋ではなくアートワークを見てほしいからです」と長澤さん。

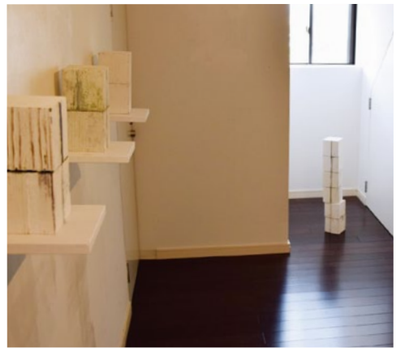
企画展開催時、参加する作家を紹介するリーフレットには、全国の美術館のキュレーターによる解説も掲載。「小さい美術館ですが、本格的なアートをリリースしていることには自負があります」とのこと。長澤さん自身も現役の彫刻家として作品を作り続けています。そんな長澤さんの目にかなった作家の作品を紹介し続けているのです。

地域の作家が交流できる貴重な場

取材に伺った日は、ちょうど新しい企画展のオープニング当日でした。作品を展示しているのは、岐阜市出身の加藤由朗さんと南谷富貴さん。経験豊富な作家と若手作家、あるいはグループ展などを組み合わせて企画展を開催。会期は2ヶ月で、多いときは600人以上の美術ファンが足を運ぶそうです。取材日はオープニング当日ということもあって、100人ほどの人々で賑わっていました。「作家同士が集まれる環境は少ないですし、こういうチャンスを作ってくれる長澤さんには本当に感謝しています。ほかの作家さんの作品を見ることで、自分にも大きな刺激になります」と語る若手作家さんも多く参加していて、作家同士が交流できる貴重な場にもなっているようです。

若手作家を世に出してあげたい

長澤さんが私財を投じてまで美術館運営を続けるのは、「美術の王道を進みたいと思う人の背中を押してあげたい」からです。長澤さんはかつて県立加納高校美術科の教師を務めていました。「全国には美術科のある公立高校は4つしかありません。その1つが加納高校で、岐阜県にあります。毎年、40人の作家の卵が卒業するわけですが、残念ながら作品を発表する場がほとんどありません。彼らの力になってあげたい。地方から若手作家を世に送り出してあげたいと思ったからです」とスタートのきっかけについて語ってくれました。



媚びずに、ブレずに本格アートをリリース

極小美術館の建物は元々、未使用だった倉庫を活用したもの。建物は決して大きなものではありません。けれども、展示している作品のレベルは高く、毎回、各地の美術館から館長などが訪れます。その際、目に留まった作家には、「うちにも出品してみませんか」と声がかかることもあります。極小美術館での展示をきっかけに、全国的に活躍する作家をすでに何人も輩出しています。どこからも援助を受けない代わりに、媚びることなく、ブレることなく、本格的な現代美術が鑑賞できる美術館として確固たるポジションを築くまでに至りました。

厳しくもあたたかい代表の長澤さん

年4回の企画展は、すでに7年先までスケジュールが埋まっているそうです。今後の夢について伺ってみると、「これまでと変わることなく、現在のような形で続けていけたらと思っています。今日のオープニングパーティーにも本当にたくさんの方が来てくれましたが、多くのサポーターに支えられて、ここまで続けることができました。その意味では本当にありがたいと思っています」と長澤さん。

ブレない運営方針を貫き続け、小さいけれど、まっすぐに一本芯の通った、全国的にも例をみない本格的な美術館。若手作家たちの活動をあたたかく見守り続ける長澤さんのやさしさがいっぱいに詰まった極小美術館です。

アポイントメントをとって
お越しください。

問い合わせ
極小美術館

岐阜県池田町
草深大谷939-10
TEL.090-5853-3766
http://www.geocities.jp/
kyokushou_museo/

岐阜市長良に岐阜県の情報発信のための スタジオが開設！「BHMS（バムズ） サテライトスタジオ」

岐阜県国際交流センターの交流員らによる収録風景

スタジオ開設の狙いや目的は？

岐阜県が誇る豊かな地域資源情報----
産業や企業、ものづくりの技術、文化、諸団体の活動などを紹介するために、
株式会社バムズの協力を得て、2018（平成30年）7月に開設されました。
また、岐阜県が、全国に誇る歴史、豊かな自然環境や観光資源情報をはじめとした
様々な情報を内外に発信し、「ぎふ」を広く知ってもらい、
県下各地の地域経済の活性化に繋げるための拠点としての利用が期待されています。

BHMS Satellite Studio

スタジオの今後の活用は？

スタジオで収録したソースを、
HP、YouTube、SNS、FM/AM（局）、
CD/DVDなどのメディアに落としこんで、
各々の媒体ならではの、
効果的な情報発信をすることを狙っています。

- 岐阜県国際交流センターとの連携による、様々な在住外国人のメッセージ発信
- 岐阜にゆかりのある文化人、アスリート、タレント、ミュージシャンとの対談
- 県下42市町村と連携した地域の魅力情報の発信
- 企業トップによる新商品開発、新規事業の立ち上げ等の情報提供。また企業の魅力発信による求人対策（Uターン、Iターン等）
- 暮らしを豊かにする様々な情報や教室番組
- 学生、小・中・高生の様々な活動報告会やミニコンサート

などなどです。

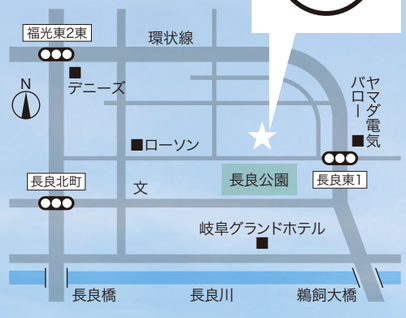
スタジオ概要

運営：「特定非営利活動法人ぎふ・プロジェクトネットワーク」

※現在、サイトと情報誌発行の2本柱で、岐阜県の情報発信を行っています。

〒502-0003 岐阜市三田洞東1丁目20番3号
Tel：058-237-6662　Fax：058-237-7509　E-Mail：info@gifu42.net
www.gifu42.net

■名称：BHMS Satellite Studio（バムズ サテライトスタジオ）
■所在地：岐阜市長良井田50-1（長良公園北）複合商業施設BHMS内



清流の国ぎふ ふるさと魅力体験

岐阜県が力を入れる「ふるさと教育」

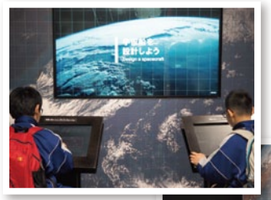
岐阜県では、
第2次岐阜県教育ビジョンの施策として、
地域に暮らす様々な人々との
関わりを深めながら、
身近にある地域の
自然・歴史・文化・産業等について学ぶ
「ふるさと教育」を推進しています。
その一環として、
学校が、岐阜県内の施設や名跡を訪れ、
体験学習を行う取組を
昨年度から実施しています。
本年度は、公立の小学校、中学校、
義務教育学校、特別支援学校で合わせて
約190校が体験学習を行います。

平成30年度実施例の紹介❷

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

●実施校／安八郡輪之内町立輪之内中学校 1年生

【体験学習概要】
本年度リニューアルオープンした「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を訪れ、岐阜県が誇る航空産業について学びました。各務原市で航空産業が発展してきた歴史を詳しく知るとともに、ロケットの操縦や、人工衛星の操作などの最先端の科学技術をバーチャルで体験することができました。



生徒の感想

・博物館では、飛行機の歴史、飛行機の種類、宇宙への挑戦などについて、詳しく分かりました。また、昔から空への挑戦がされていて、その間にもいろいろな失敗もあったことが分かりました。僕も何事にもチャレンジをして、成功するように努力していきたいです。
・博物館に着くと「ゴッ」という音が聞こえ、すぐ近くを低空で飛行機が飛んでいたことに驚きながら中に入りました。自分たちで考えた人工衛星が着陸できるかどうかテストする体験は、重さを考えるのがとても難しかったけれど、とても楽しかったです。
・飛行機やロケットの誕生から今までの歴史や、開発した人たちの夢や挑戦、思いについてなどたくさんのことを学びました。今は普通に飛行機を使っているけど、それも人々の努力のおかげなんだな、と改めて実感することができました。

平成30年度実施例の紹介❶

関ケ原古戦場めぐり

●実施校／本巣郡北方町立北方小学校 6年生

【体験学習概要】
社会科の授業で学習した「関ケ原の戦い」があった地を実際に訪れ、町の史跡ガイドの方に案内していただきながら古戦場を歩いて巡り、詳しいお話を聞きました。日本の歴史が動いた場所を肌で感じ、学習を深めることができました。

児童の感想

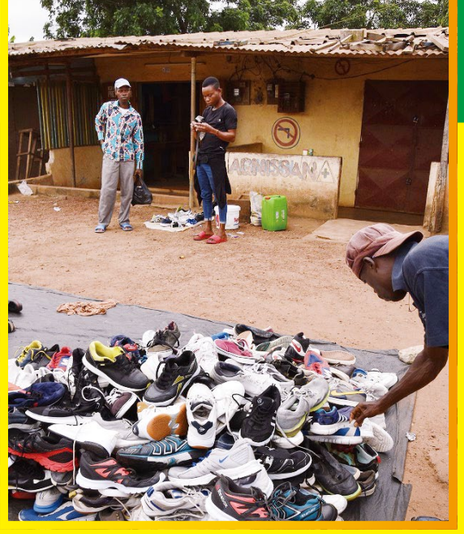
・関ケ原が「世界三大古戦場」と呼ばれるとても大切な場所だということが分かりました。命は大切だから、敵であってもしっかりお墓にまいそうしたということや、住民のために戦いの後にお金を出して関ケ原をきれいにしたことなど、昔の人たちの姿勢が心に残りました。
・徳川家康も石田三成も、もっとみんなが安心できる平和な国にしたかったという気持ちは同じだったということや、地形なども考えて、おたがい有利に戦えるようにしていたということが心に残りました。
・ガイドさんが、関ケ原の戦いの後は争いが減ったとおっしゃっていたので、こうやって史跡を残しておくことで、平和の大切さを伝えているんだと思いました。

靴を送る活動は心のキャッチボール

西アフリカにあって、人口約2,000万人が暮らすコートジボワール。そのコートジボワールの子どもたちに、靴を送る活動を10年間続けているのが、NPO法人「ぎふ・コートジボワール」です。靴を送り始めたきっかけや目的、今後の夢などについて理事長の杉山利夫さんとアドバイザーでコートジボワール出身のカク・ブル・ジョージさんに伺ってみました。

裸足でサッカーに夢中になる子どもたち

コートジボワールへ靴を送る。そのきっかけは11年前。留学生として岐阜を訪れ、すでに日本での在留が23年目を迎えたカクさんと杉山さんが知り合ったことから始まります。機会を得て、コートジボワールを訪れた杉山さんに大きなインパクトを残したのが、子どもたちの姿でした。「靴を履かずに裸足でサッカーに夢中になっている子どもたちの姿が頭に焼き付きました。そして、自分にも何かできることはないかと考えました。日本では、サイズが合わなくなったり、新しいモデルが出ると靴を買い替えることがあります。それでいて、意外に靴は捨てにくい雰囲気があって、まだ十分履ける靴が、靴箱の中に眠ったままというケースもあります。そこで靴を送ることを考えました」と杉山さん。「コートジボワールは、ほとんどの物を輸入に頼っています。靴ももちろん輸入品しかなく、価格も高いため一般の人たちは買うことができません。とてもいいアイデアだと思いました」と語るカクさんも賛同して、コートジボワールへ靴を送る取り組みがスタートしたのです。



課題は輸送費の捻出

ただ、課題もあります。毎年1回約7千足の靴を船便でコートジボワールへ送り届けるわけですが、その輸送費の捻出には毎年、頭を悩ませています。「おかげさまで、皆様の暖かい気持ちのおかげで毎年、たくさんの靴が集まるようになりました。ただ、靴を送るには輸送費は欠かすことはできません。私たちの活動に賛同していただける企業や団体から善意の支援をいただいていますが、まだまだ足りないのが現状です。カンパの輪がもう少し広がるとありがたいですね」と杉山さんは語ってくれました。

民間の交流が国同士の交流につながる

コートジボワールでは、靴が届くのを心待ちにしている子どもたちがたくさんいます。受け取った子どもたちはどのような反応なのでしょうか。カクさんに伺ってみました。「靴をもらった子どもたちは、本当に大喜びしています。その姿を見ると、いつまでも続けたいと思います。靴には名前が書いてあることもあります。子どもたちは、『なんて書いてあるの?』と尋ねてきます。『○○君という名前だよ』と教えると、名前を読み上げて感謝の言葉を言ったり、メッセージを書く子どももいます。こうした民間の交流から国を挙げての交流につながっていく。その1つのきっかけになると信じています」。

物を大切にする心を育てたい

最後に、杉山さんに靴を送る活動に込めた思いについて語ってもらいました。「自分が不要だと思っているものでも、世界を見ると、欲しいと思う相手がいる場合があります。大事に履いて、サイズが合わなくなったら必要としている相手に送り届ける。この活動を通じて、物を大切にする心を育むことができると考えています。そして、人生には可能性がたくさんあります。でも、行動を起こさなければチャンスをつかむことはできません。靴を送るというこの活動も、『ふーん、そんな活動があるんだ』と、ただ黙っていれば、目の前をスーツと通り過ぎていきます。でもアクションを起こす、チャレンジすることで、何か変わるかもしれません。靴を送る活動を通して、ぜひ、つながりのありがたさを感じてほしいと思います」。

コートジボワールへ靴を送り届ける活動は、物を介しての心のキャッチボールです。物にあふれた生活を見つめなおし、相手を思いやる心を育てる活動はこれからも続いていきます。

10年間で63,000足の靴を送り届ける

コートジボワールへ靴を送る取り組みがスタートして、今年でちょうど10年目を迎えました。ほぼ毎年1回のペースで継続し、これまでに送った靴は約63,000足になりました。当初は、寄せられる靴もバラバラで、中にはハイヒールや長靴が提供されたこともあるそうです。「基準は、自分がもらって、ありがとうといえるものです。不要になったから提供するのではなく、中古でもいいから十分使えるものでないと送り届けることはできません。その意味では、最近は理解が進んできたように感じます」と杉山さん。

左／カク・ブル・ジョージさん
右／理事長の杉山利夫さん

問い合わせ
NPO法人
ぎふ・コートジボワール
〒502-0817
岐阜市長良福光2525-1
(花屋のすぎやま内)
TEL.058-295-5577

たくさんの人に愛され
40周年を迎える銀座の老舗クラブ

東京岐阜県人会では、
各分野で様々な方々が活躍しています。
今回は銀座にお店を構えて
来年40周年を迎える老舗クラブ
「サロンドゥあさの」を経営する
浅野幸子さんを紹介します。
来年40周年を迎えるにあたり、
これまでの仕事の楽しさや
苦労を振り返っていただくとともに、
ふるさと岐阜への思いについても
語っていただきました。

会員制クラブ
「サロンドゥあさの」店主
浅野幸子さん

何十年かけて築いた信用も気を抜けば1日で崩れる

ふるさと岐阜から東京へ出てきて、どれぐらいになりますか?

○**浅野**　かれこれ50年ぐらいになります。自分を試してみたいと憧れの東京へまいりました。色々挑戦してから、建設業の車両リース会社を経営しておりました。あの頃はまだ男性社会の職業であり、大変厳しい経験もいたしました。そして転職にあたり、素の自分が発揮できる職をと現在の銀座を選びましたが、大変な仕事を選んでしまったと思いました。2年や3年で辞めるのは失敗に成ってしまいますので、10年は続けようと自分に約束しました。続けるうちに、難しさもありながらも、おもしろさも感じるようになり、現在に至っております。

銀座で40年間、お店をやり続けるというのも大変なことだと思います。日々心掛けていたことはありますか?

○**浅野**　サロンですから、基本的にはお客様にくつろいでいただく癒しの空間です。ただ、遊び方にも仁義、礼儀があると思います。私どものHPにも掲げてございます、昭和54年開業以来当店の営業方針は常に品格のある接客を心掛け、時代は変わっても真心で接する気持ちは変わりません。そこが歴代のご贔屓筋が集う隠れ店と言われる由縁です。新たな出会いに一期一会を大切にしたいと思っております。

「慣れないといけないけど、擦れてはいけない」

様々なお客様との出会いの中で、得たものもあると思います。思い出深いエピソードがあればお聞かせください。

○**浅野**　皆様のお言葉や知恵をいただいて今日まで来たと思っています。あるお客様から、「慣れないといけないけど、擦れてはいけない」とお声がけしていただいた言葉は今も強く印象に残っています。仕事を舐めてはいけない。でも、慣れることは必要だといわれました。とても温かい思いやりを感じました。

苦労も乗り越えれば、よき思い出になり自信になる

改めて40年を振り返ってもらうと、様々な苦労があったと思いますが、いかがですか?

○**浅野**　苦労と思うか、勉強と思うか、とらえ方によって変わると思います。難問はたくさんありましたが、乗り越えれば、いい思い出になりますし、自信にもなります。私自身、特別な才能はありません。人の2倍、3倍努力してようやく人並みだと思っています。私のモットーとして、銀座らしく、あさのらしく、私らしく、を心掛けて日々過ごして参りました。「今日一日を燃やし尽くしたか」と問いかけながら、その積み重ねが40年になったと思います。

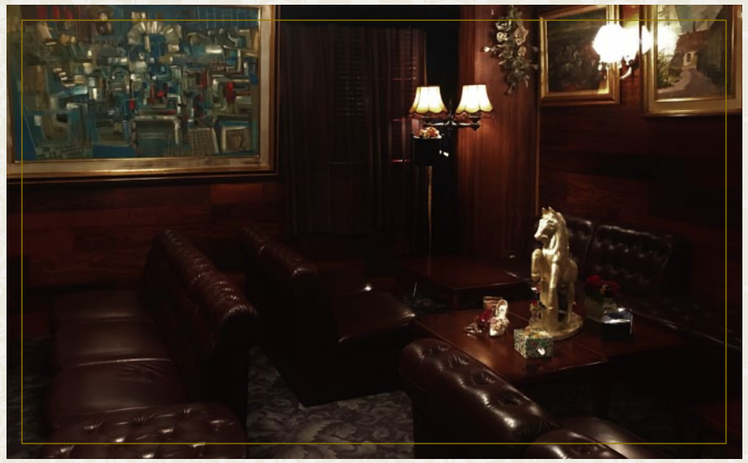
駅前は家の玄関。賑やかな姿であってほしい

ふるさと岐阜への思いについても聞かせていただけますか?

○**浅野**　岐阜への思いは、日々深くなります。若い頃は東京で戦っていたので、ふるさとを振り返る余裕もありませんでした。でも50歳になって、初めてクラス会に参加しました。幼馴染に会って、懐かしい話で盛り上がって、改めてふるさとはいいものだなと実感しました。以来、県人会も欠かさず参加しています。

愛着あるふるさと岐阜に対して提言があればお聞かせください。

○**浅野**　JR岐阜駅を降りた第一印象は寂しいという感じがします。駅前は自宅で言えば玄関です。玄関前の問屋街の今の状況をみると、他の地域から来られた方はさびれているというイメージを持つのではないでしょうか。ここで商売ができるだろうかと不安になると思います。賑やかさがない駅前を見て、岐阜そのものが評価されてしまうと、とても残念です。目から入る印象は大切です。



活気づいた景色にすることは大事なことではないでしょうか。岐阜には、たくさんの産業もあります。駅前に大きなビルを建てて、刃物、陶器、和紙、木工など、岐阜の素晴らしい特産品が一目でわかるようにするのはどうでしょうか。名古屋のベッドタウンではダメです。むしろ名古屋から人を引っ張ってくるような岐阜になってほしいと思います。

出会いに感謝して

最後に今後の抱負についてお聞かせください。

○**浅野**　ありがたいことに、オープンからのお客様が現在でも数十社のお引き立てをいただいております。会員制の看板を外せば、間口も広がって売り上げも伸びるかもしれませんが、裏を返せば、長くご贔屓いただいている皆様を裏切ることになりかねません。ここまで来ましたので、これからも会員制を貫き通します。40年間素晴らしい皆様にお会いできたことに感謝して…。さらに岐阜県人会の方々からの温かいエールを胸に留め、日々精進致して参ります。

銀座老舗クラブ
会員制　サロンドゥあさの
店主　浅野幸子

東京都中央区銀座4丁目8番13号
銀座蟹睦会館ビル2F
Tel:03-3567-5055
E-mail:salonde.asano@etude.ocn.ne.jp
HP:http://ginzaasano.jp

岐阜県商工会議所
青年部連合会会長
亀谷孝太さん

2月に、日本商工会議所青年部第37回全国大会「岐阜かかみがはら大会」が終了しました。全国から会員が集まる大事業を終え、今年度はどんな活動を行ったか、次年度に向けての意気込みなどを、岐阜県商工会議所青年部連合会会長の亀谷孝太さんに伺ってみました。

岐阜県商工会議所青年部連合会

大盛況のうちに閉幕した全国大会

改めまして、全国大会を少し総括してもらえますか？

◆**亀谷**　5，000人の方に来ていただくことを目標にスタートして、実際には6，100人の方に来ていただき、大盛況のうちに終えることができました。関、各務原、恵那、高山、美濃加茂、可児、それぞれで分科会を開催したのですが、こちらも定員いっぱいの参加者で賑わいました。これまでの分科会は事前に登録はあるけれど、当日不参加というケースも見られましたが、今回は異例でほぼキャンセルがありませんでした。6市それぞれで、いつもより人数をかけてキャラバン活動を行った成果だと思っています。その意味では、会員それぞれがつながりを非常に実感できたのではないかと思います。

つながりの素晴らしさを伝えていきたい

今年の活動内容についてはいかがですか？

◆**亀谷**　10年以上にわたって、全国大会の準備に向けた動きを続けてきましたので、会員にも相当な負荷がかかってきました。その意味では、今年は少し英気を養いながら、来年につなげていく年だという位置づけで活動してきました。7月に事業報告をして、ようやく全国大会も終わったということで、少しホッとしています。

来年は日本の会長を輩出

少し充電して、来年からはまた活動が活発化するというわけですね。

◆**亀谷**　全国大会の会長を務めた田中さんが、来年は日本商工会議所青年部会長になります。岐阜県では初めての輩出になります。会長に就任すれば、交流事業や視察など海外へ出向くこともあり、多忙を極めます。会長一人に大変な思いをさせてはなりません。支え方にもいろいろあると思いますが、会長のお膝元の県としての準備も始まっていて、実際は、なかなかゆっくりはできないです。

実情は、あまりゆっくりはできないということですが、来年に向けての抱負をお願いします。

◆**亀谷**　今回の全国大会を通して、キャラバンで全国を訪問して、全国のいろいろな人たちとつながることができました。ただ、このつながりは経験した人しかわからない部分でもあります。これからの青年部を担う人たちに、つながりの楽しさ、喜び、大切さを伝えていく必要があります。その意味では、今年は交流委員会を新たに設けました。新しく入ってくる仲間にも、つながりの素晴らしさを伝えていきたいと思います。

明るい豊かな社会の実現に向け、青年経済人が集い活動する公益社団法人日本青年会議所（JC）。社会の若きリーダーとして、今年度実施した活動内容について、東海地区岐阜ブロック協議会2018年度会長の酒井健吉さんに伺ってみました。

公益社団法人 JCI 日本青年会議所

東海地区岐阜ブロック協議会
2018年度会長
酒井健吉さん

17の「和」の精神性が導く愛と希望溢れる岐阜の創造

自らを成長させてくれたJC。仲間をもっと増やしたい

今年の活動内容について振り返っていただけますか？

◆**酒井**　JCは、12月31日までが1年度ということで、今年度の事業としてはすべて終了しました。4月には会員拡大セミナーを実施しました。会社の中にいると、私の立場としては叱られる機会はほとんどありません。でも、JCにいると、会社の肩書も年齢も関係ありません。JC内で上位の役職に就いた方からは叱咤されることもあります。私自身は様々な役職や役割が経験できるJCに入ったことで、人間として大きく成長できたと思っています。今回のセミナーでは一定の成果は得られましたが、思ったほどの会員拡大には結びつきませんでした。さらに活動を強化して、一人でも多くの仲間を増やすことができたらと考えています。

ほかの活動についてはいかがですか？

◆**酒井**　6月には第45回JC青年の船とうかい号を実施しました。今回は台湾を寄港地にして開催しましたが、約400人の一般の方々の参加があり、和の精神性、主権者意識、他を慮る道徳心、未来志向の国際交流の4つの柱で行った研修によって、自己の新たな成長を実感していただけたと思います。

次世代を担う人を育て、地域貢献に取り組む

ほかにも実施された事業があれば教えてください。

◆**酒井**　7月には、「家」的道徳を育む事業を実施しました。3つのプログラムを実施したわけですが、道徳教育の重要性が増す中で親子が共に学び成長する時間を提供することができたのではないかと思います。また、同じ7月には、「JCカップ岐阜大会」を開催しました。今年で4年目を迎え、参加チームも4チームになりました。今回はFC岐阜にも協力していただき、キックターゲットで競い合うなど、新たな交流もありました。来年度以降さらに活性化することを期待しています。

最後に、今後の酒井さん自身の抱負についてお聞かせください。

◆**酒井**　私のJC活動も残すところ、あと4年になりました。JCに入ったおかげで、たくさんのよき先輩や仲間に恵まれ、人として成長することができたと実感しています。これからは私が恩返しをする番だと思っています。「JCに入ってよかった」「人間として大きく変わることができました」といえるような後輩を育てることに力を入れていきたいです。そして、地域の皆様のおかげで現在の私があるわけですから、地域貢献にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

キラリ
アクティブ
watching

楽しみながら
書の魅力を伝える

各地のカルチャーセンターをはじめ、
カフェやギャラリーなどで、書の魅力を伝える河口瑛泉さん。
書道を始めたきっかけや楽しさ、今後の夢などについて聞いてみました。

瑛泉書の会　代表
河口瑛泉さん

直筆の手紙をもらった時の感動が大きい

ＩＴの進化により、ペンや筆を持って書く機会はかつてに比べると随分減少しています。「私が習っていたころに比べると、毛筆を習う子どもは減りました。でも、ＩＴがこれだけ発達したからこそ、直筆の手紙をもらった時の感動は大きいものがあります。だからこそやりたいという人もいらっしゃいますよ」と河口さんは語ります。

河口さんの生徒の多くは女性で、大人が中心です。それでも、小学生から行っています。このように楽しく書を学べる形態はとても人気で、カフェやギャラリーでの出張講師のオファーもたくさんあるそうです。

カフェやギャラリーでも書写講座を開催

真っ白な紙の上に、巧みな筆遣いにより見事な文字を表現する河口瑛泉さん。女性らしい柔らかさがありながら凛とした強さを持つ美しい文字は多くの人々を魅了しています。河口さんが、書道教室を始めて33年。現在は、自宅教室はもちろんですが、各地のカルチャーセンターでも講師を務めています。また、ランチやお茶を楽しみながら、それぞれの目的に合ったレッスンも精力的に務めています。

そんな河口さんと書道の出会いは小学1年生の時でした。「地元の書道教室に通うようになったのがきっかけです。親から勧められて始めたのではなく、なんとなく自分もやってみたいという思いから習うようになりました」とのこと。それ以来、書道に魅了され、現在はその魅力をよりたくさんの人に伝えたいという思いで、各地の出張講師も精力的に務めています。

心を無にして自分と向き合う

河口さんにとって、書の魅力とは何か、伺ってみました。「これは生徒さんから気づかせてもらったんですが、『先生の字を見ると、元気が出ます。癒されます』という言葉をいただくと本当にうれしくなります。実を言えば、本来、私はそれほど字を書くことが好きだったわけではありません。しかし、師匠のおかげで学び続けることができ、書で世の中に貢献できるようになりました。それに、文字の持つ美しさを表現することは自分自身を磨くことにつながっています。また、書いているときは、集中力も高まって心が無になります。書と向き合う時間は、自分と向き合う大切な時間でもあります」とのこと。そして、文字には、そのときの心が表現されるそうです。「雑念があると、その気持ちが文字に出てしまいますが、書と向き合っていると心が落ち着いてくるのです」と語るように、日々忙しいからこそ、河口さんにとっての書は大切になっているようです。

大きな筆を走らせて豪快に文字を描くパフォーマンスも、河口さんならではの1つの表現方法です。5年ほど前に、あるパーティーで依頼されたことが始めたきっかけでした。以来、ＳＮＳなどで広がり、ショッピングモールやハウジングギャラリー、海外などでも披露しています。

習い始めて高校生になった現在も続けている男子生徒さんもいます。そんな中に、20代でカルチャーセンターへ通うようになった男性と女性がいました。「そのおふたりが今年の春、結婚されたんです。書道を通じて仲良くなって、見事にゴールイン。そして今も続けていらっしゃいます。結婚される報告を受けた時は、とてもうれしく、本当に感激しました」と微笑ましいエピソードも語ってくれました。

もっと多くの人に気軽に親しんでほしい

「意外に多くの人が、字がうまく書けないというコンプレックスを持っているように感じています。カフェやギャラリーで出張講師をしているのは、億劫なく人前で書けるようになっていただきたいから、ランチやお茶を楽しみながら気楽な雰囲気で書に親しんでほしいという思いが込められています。そして書にふれて、『人前で字を書くことが苦にならなくなりました』と笑顔で言われることが何よりうれしいです。書道は自分自身と向き合う時間にもなりますし、その魅力は奥深いです。まずは気軽に始めていただき、たくさんの人に親しんでいただけたら幸いです」と語るように、日本の伝統文化である書道の魅力を、一人でも多くの人に伝えたいという思いで、河口さんの活動は続いていきます。

● 問い合わせ
瑛泉書の会　代表 河口瑛泉　TEL090-2687-6583
https://www.facebook.com/eisen.kawaguchi

岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくりを支えます
岐阜県図書館

岐阜県図書館の便利なサービス

ビジネス支援サービス

仕事に関する情報の提供や
調べもののお手伝いをします。
1階ビジネス支援コーナーでは、企業情報に関する
資料や、データベース端末をご利用できます。

音楽配信サービス

クラシック音楽を中心とした音楽配信サービスです。
インターネットを通じて約180万曲が
無料で聞き放題です。図書館のHPからログインし、
ご自宅からも利用可能です。

有料宅配サービス

県図書館の本をご自宅にお送りするサービスです。
当館Webサイト申込フォームやFAX／郵送で
申し込むことができます。
送料は往復とも利用者の負担になります。

インターネット貸出延長

当館Webサイトで、現在借りている
資料の貸出延長ができます（1回のみ）。
このサービスを利用するには事前に
パスワード登録が必要です。

相互貸借サービス

お近くの図書館にお探しの資料がない場合、
所蔵している他の図書館から借りて
利用することができます。
お近くの図書館でお申し込みください。

遠隔地返却サービス

県図書館で借りた本を県内市町図書館で
返却できるサービスです。
返却できるのは、
岐阜地区等を除いた図書館です。

レファレンスサービス

調査、研究に必要な本の紹介や
資料を探すお手伝いをします。
お気軽にお尋ねください。

（窓口のほか電話・FAX・文書・メールで受付。
県外からは岐阜県・地図関係の質問のみ受付）

●岐阜県図書館の主な催しもの

ブルーリボンキャラバン
もっと知ってほしい大腸がんのこと 2018 in 岐阜　岐阜大学病院　県民公開講座

■平成30年10月14日（日）　■多目的ホール
大腸がんの診断・検査から、外科的治療・薬物療法についてまで、
広く一般の皆様に知っていただく講座を開催します。
ロビーでは、検査・治療に使用する機器なども展示します。

公共図書館スタンプラリー

■平成30年10月27日（土）～11月30日（金）
県内の図書館を巡るスタンプラリーを開催します。
各図書館で魅力的なイベントや先着限定の
プレゼントもご用意していますので、
是非ご参加ください。

第24回 児童生徒 地図作品展

■平成30年10月28日（日）～11月11日（日）
■研修室
県内の小・中・高等学校、特別支援学校の
児童・生徒から地図作品を募集し、
入賞・入選した約60点の作品を展示します。

文化の森の秋まつり

■平成30年11月3日（土・祝）
県図書館と県美術館の間の道路を
歩行者天国にして、
エリア一体でイベントを開催します。
図書館内や図書館玄関前広場などにおいて、
子供から大人まで楽しんでいただけるような
イベントを予定しています。

岐阜県図書館名誉館長 紺野美沙子さん朗読会

■平成30年11月3日（土・祝）　■多目的ホール
■定員300名［要申込］ ※申込方法等 詳しくは図書館のホームページをご覧ください。
今年の演目は「ベルベットのうさぎ」
（マージェリィ・ウィリアムズ原作の児童文学）です。
ジャック・リー・ランダルさんと広田郁世さんの影絵、
高瀬“makoring”麻里子さんの歌とともにお楽しみください。

なつかシネマ

所蔵するビデオの中から岐阜県にゆかりのある
作品など懐かしの名作を毎月1回上映します。
■平成30年10月21日（日）　華氏451
■平成30年11月3日（土・祝）
　ビザと美徳 ～日本のシンドラー杉原千畝～、
　ふるさと、瀬戸内少年野球団
■平成30年12月16日（日）　マダム・イン・ニューヨーク

博物館・図書館連携企画展 「歌川国芳 木曽街道六十九次」

■前期：平成30年11月2日（金）～11月25日（日）
　後期：平成30年12月12日（水）～12月27日（木）
■企画展示室Ⅱ
浮世絵師、歌川国芳が描いた
「木曽街道六十九次」は物語絵のシリーズ物です。
全72枚を前期・後期に分けて展示し、
「木曽街道六十九次」を読み解きながら、
江戸時代の人々の娯楽を紹介します。

「木曽街道六十九次内　御嶽　悪七兵衛景清」 岐阜県博物館蔵（後期展示）

「清流の国ぎふ・おすすめの1冊コンクール」表彰式・講演会

■平成30年12月23日（日）　■多目的ホール
今年度の紹介文部門・POP部門・イラストPOP
部門における入賞作品8点の表彰を行い、
その後、岐阜県出身作家 中山七里さんによる
講演会を開催します。

＊県図書館の休館情報
・月曜日（祝日の場合は翌平日）・毎月最終金曜日（図書整理日）・年末年始（平成30年12月28日（金）～平成31年1月4日（金））
・臨時休館（図書総点検 平成30年11月27日（火）～12月11日（火）ほか）

＊県図書館の連絡先
〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1　TEL：058-275-5111　FAX：058-275-5115　MAIL：library@library.pref.gifu.jp

岐阜県図書館　検索

関西岐阜県人連合会

彩都やまもり
saito yamamori

平成19年春、県大阪事務所撤退に伴い、岐阜県人会は、県事務所による運営から自主運営することになり、関西3県人会（大阪、京都、神戸）では110年の歴史、伝統の灯を消さぬよう連携して運営しようと、平成22年6月に関西岐阜県人連合会を結成しました。
平成27年10月に連合会の活動拠点「彩都やまもり」を開設し、岐阜県と県下自治体との交流を深めながら、県と３県人会とのパイプ役として、岐阜県の情報発信基地として活動しております。また、平成30年4月からは県より岐阜県移住定住推進事業の委託を受け、県の関西窓口としての役割も担っております。

彩都やまもりが誕生してまる3年。
その間たくさんのお客様にご来場いただき誠にありがとうございました。今年も楽しいイベントや岐阜の観光物産展など盛りだくさんの内容で皆さまのお越しをお待ち申し上げております。　関西岐阜県人連合会

「岐阜ふるさと祭り2018」開催決定！
10/20（土）、21（日）

岐阜県の観光情報や各市の特産品が大集合！！　郷土芸能を披露する絶好の機会。ぜひご参加ください。　<参加費無料>

岐阜観光物産展

みたらし団子、飛騨紅茶、けいちゃん、明宝ハム、味噌せんべい、飛騨ラーメン、飛騨の漬け物、刃物、かき羊羹、はちみつ、五平餅、鮎の塩焼き

関西岐阜県人連合会 活動拠点「彩都やまもり」

■ 主な活動

- 毎月ごとにテーマを決めて更新する岐阜を紹介するギャラリー展示
- 岐阜県移住・定住事業の拠点（岐阜県委託）
- 連合会会報（やまもり通信）月刊発行など

■ 主な行事

- 関西岐阜県人連合会総会・各県人会総会
  1月：都道府県対抗女子駅伝応援
  3月：ふるさと自治体訪問
  6月：ぎふフェス＠京都
  8月：高校野球応援、鴨川納涼出展
  9月：バスツアー“ふるさと紀行”
  10月：岐阜ふるさと祭り

■ ギャラリーイベント実績

- 美濃焼展（土岐市）　・美濃和紙展（美濃市）
- 関刃物展（関市）　・岐阜の四季展（岐阜県）
- 木工展（中津川市）　・岐阜県移住･定住展
- 岐阜世界遺産展　・岐阜の城展　他

ご購読の皆様のお知り合いの方で、関西在住で岐阜出身の方、岐阜を応援したい方がいらっしゃいましたら是非ともご紹介をお願いいたします。

お問い合わせ先　〒562-0028
大阪府箕面市彩都粟生南1-17-26
彩都やまもり内
関西岐阜県人連合会事務局
TEL：072-739-6046/ FAX：072-726-2401

http://www.gifu-iju.com

東京岐阜県人会

～ 第10回 東京岐阜県人会講演会・懇親会を開催 ～

吉村会長の挨拶

平成30年7月7日（土）都道府県会館（千代田区平河町）にて、第10回東京岐阜県人会　講演会･懇親会が開催され、多治見市長、恵那市長など、約80名の方が参加されました。

講演会では「NHK連続テレビ小説『半分、青い。』の制作を通じて見た岐阜の魅力」と題し、NHK連続テレビ小説「半分、青い。」のチーフ･プロデューサー 勝田 夏子 様にご登壇いただきました。制作現場の知られざる裏話から、岐阜県民が気づいていない岐阜の魅力まで、とても興味深いお話を伺うことができました。質疑応答でも活発に質問が飛び交い、「半分、青い。」の人気が高いことが改めて伝わってきました。

講師･勝田夏子さん

その後の懇親会では「半分、青い。」で一躍有名となった五平餅等、様々な料理に舌鼓を打ちながら、会員同士の交流が積極的に行われました。普段なかなか交流できない方々が「岐阜県」という繋がりで様々な人的ネットワークを構築できる場、それが東京岐阜県人会なのだと実感できる会となりました。

今後も、11月20日（火）の平成30年度　総会･懇親会をはじめ、各委員会でも様々なイベントを計画しています。まだ東京岐阜県人会のイベントに参加されたことのない方は、ぜひご参加ください。

勝田さんが語る岐阜の魅力

講演に聞き入る参加者

乾杯の挨拶

懇親会の様子

東京岐阜県人会入会のご案内

東京岐阜県人会は、岐阜県の食や文化、会員同士のつながりを大切にし、楽しい各種活動を行っています。また、この会をきっかけに様々な人的ネットワークも構築できます。

会の主な活動は、総会や懇親会といった会員全体が集まる活動のほか、会報誌「ギフネット」の発行、ゴルフや囲碁などの趣味の会、女性だけで活発な活動を行うレディース倶楽部などなど……

年末には若手会員増に向けたクリスマスパーティーも開催するなど、様々な活動を展開しています。ぜひ皆さんもお知り合いの方をご紹介ください！よろしくお願いします。

【 年 会 費 】 個人会員 2,000円（家族会員1,000円）　法人会員 30,000円

【 入会案内 】 東京岐阜県人会HP　http://www.apgifu.net/

東京岐阜県人会　検索

お問い合わせ:gifukenjin-tky@poppy.ocn.ne.jp

上のQRコードからもアクセスできます。

講演会・セミナー等のご案内

特定非営利活動法人 ぎふ・プロジェクトネットワークでは、
様々な分野でご活躍の講師による講演会・セミナー、
そして音楽公演をご紹介しています。

お気軽にお問い合わせください。

PTA母の会、企業向け研修会、医療従事者・看護学校向け研修会など、幅広い分野で講演会を実施。年間1、000名以上のがん患者のサポートの傍ら、精力的に講演会を行っています。

NPO法人テッテルーチェ 理事長
加藤 千恵子さん

【講演概要】

「がん」を正しく知る。
そして「がん」から命を救う食事と生活術を理解する。
～健康プロジェクト～

- 自分や周りの人が「がん」になったらどう対するのか、人生や生活について考えるきっかけを作ります。
- 「がん」に対する知識を得ることにより、むやみに怖がったり、誤解や偏見をなくしていきます。

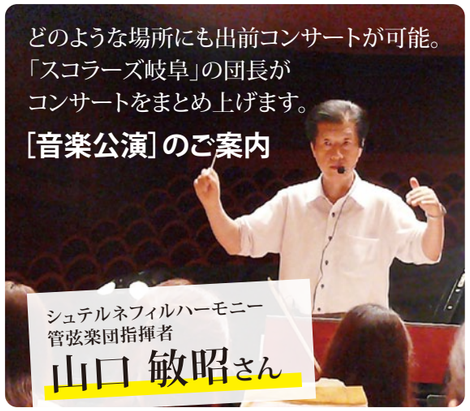
金融機関、葬儀社などでのセミナーや、行政書士会や司法書士会、日本FP協会など専門家向けの支部研修など年50回を超える講演実績があり、「お金の終活（すばる舎）」の著者。

なごみ行政書士事務所
なごみ相続サポートセンター 所長
山田 和美さん

【講演概要】

「相続」を「争続」にしないために、
そして後悔のない「終活」のために

- 超高齢化社会の中、「相続で困るのは一部のお金持ちだけなので、うちは関係ない」と自己判断している人が多いのが現状で、その結果、家族が争ってしまったり、手続きが煩雑になってしまったりするケースが散見されます。
- 生前元気なうちであれば、ほとんどの問題に対して策を打つことは可能であり、その対策法をお伝えします。



どのような場所にも出前コンサートが可能。
「スコラーズ岐阜」の団長が
コンサートをまとめ上げます。
[音楽公演]のご案内

シュテルネフィルハーモニー
管弦楽団指揮者
山口 敏昭さん

【音楽公演概要】

岐阜市にて音楽活動を行っている「スコラーズ岐阜」は、楽しい音楽公演を、プロデュースしています。
場所は、ホール、学校、建物内のスペース、寺院、ご家庭など、どんな場所にも出前コンサートが可能です。

- 誰もが知っているポピュラークラシック曲による「オーケストラコンサート」
- テレビから流れてくる名曲オペラを、ソプラノ歌手やテノール歌手が声高らかに歌う「オペラティックゴールデンコンサート」
- 銀行のロビーのようなスペースで「弦楽四重奏」や「室内楽」でのお客様向けのイベント。

講演会については、お気軽にご連絡ください。ご説明をいたします。

お問い合わせ
特定非営利活動法人
ぎふ・プロジェクトネットワーク
Tel:058-237-6222 Fax:058-237-7509 または
E-Mail:info@gifu42.net までご連絡ください。
〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-20-3

協力団体・組織

特定非営利活動法人**ぎふ・プロジェクトネットワーク**は、
多くの団体・組織の皆さまによるご支援の下、活動の輪を拡げています。

岐阜県庁	岐阜県教育委員会
岐阜県市長会	岐阜県町村会
岐阜県商工会議所連合会	岐阜県商工会連合会
日本青年会議所	岐阜県観光連盟
岐阜観光コンベンション協会	岐阜県市町村振興協会
岐阜県医師会	岐阜県歯科医師会
岐阜県薬剤師会	岐阜県信用保証協会
十六銀行	大垣共立銀行
岐阜信用金庫	関信用金庫
東濃信用金庫	大垣西濃信用金庫
岐阜商工信用組合	岐阜県弁護士会
岐阜県中小企業団体中央会	JA全農岐阜
岐阜県キャンプ場連絡協議会	岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合
FC岐阜	岐阜県の道の駅
岐阜県レクリエーション協会	東京岐阜県人会

清流の国ぎふ
公益財団法人 岐阜県市町村振興協会
岐阜県商工会連合会
岐阜県歯科医師会 Gifu Prefecture Dental Association
JA全農岐阜
十六銀行
すばらしい明日をつくる 岐阜信用金庫
とうのう 東濃信用金庫
しょうしん 岐阜商工信用組合
JCI 公益社団法人 日本青年会議所 Junior Chamber International Japan
岐阜県商工会議所連合会
岐阜県医師会 GIFU PREF. MEDICAL ASSOCIATION
一般社団法人 岐阜県薬剤師会
岐阜県信用保証協会
ホットなサービスをお届けする OKB 大垣共立銀行
いっしょに あしたへ 大垣西濃信用金庫
地元とともに 関信用金庫
岐阜県弁護士会 Gifu Prefecture Bar Association
公益財団法人 岐阜観光コンベンション協会
いい旅 ふた旅 ぎふの旅ガイド 岐阜の旅をもっと楽しくする観光情報満載
特定非営利活動法人 岐阜県レクリエーション協会
FC GIFU
カミソリ文化伝承館 フェザーミュージアム
岐阜県の道の駅
東京岐阜県人会

アンケートプレゼント!!

よりよい誌面づくりのために、アンケートにご協力下さい！ アンケートにお答えいただいた方に、抽選で**「5名様にquoカード1,000円分」をプレゼント!**

【アンケート項目】

1. 「Genki! ぎふ」第7号（vol.7）をどこでご覧になられましたか
2. 興味を持った記事はありましたか。掲載ページでお答え下さい
3. どのような理由で興味を持ちましたか
4. 興味の持てなかった記事はありましたか。掲載ページでお答え下さい
5. どのような理由で興味が持てませんでしたか
6. 今後とりあげてほしい情報があればご記入下さい
7. 感想をご自由にお書き下さい

【応募方法】

「官製はがき」か「E-Mail」にてお送り下さい。
・質問の○数字の後に、その答えをご記入下さい。
・返信には、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別を必ずご記入下さい。

■官製ハガキにてお送りいただく場合
送付先：〒502-0003　岐阜県岐阜市三田洞東1丁目20番3号
NPO法人 ぎふ・プロジェクトネットワーク　本部事務局 宛て

■E-Mailにてお送りいただく場合
送付アドレス：info@gifu42.net　まで

□**応募期限：2019（平成31）年2月28日（到着分）**
当選者発表は、プレゼント品の発送をもってかえさせていただきます。

※皆さまからの個人情報は、よりよい誌面づくりとプレゼント発送のためにのみ使用し、それ以外には使用をいたしません。